

活弁で甦る阪毒！

映画史上最高のチャンバラ映画と、笑わぬ喜劇王キートンの珍騒動！

雄 お 呂 る 血

一九二五(大正十四)年阪東妻三郎プロダクション作品(八十分)

一九三三年米 キートンプロファースト・ナショナル作品(十八分)

キートンの警官騒動



阪毒！



澤登翠の活動大写真2



演奏：カラード・モノトーン

2007年

3/4【日】

15:00開演(14:30開場)

※14:00から整理券配布

茨木市福祉文化会館

オークシアター・文化ホール

茨木市駅前四丁目7番55号／072-623-3962

前売1,500円(当日1,800円) 全席自由席 12月13日(水) 発売 *就学前のお子様の入場はご遠慮ください。

◆チケットの取り扱い・お問合せ

(財) 茨木市文化振興財団 072-625-3055 (茨木市市民会館ユーアイホール1階 8:45~17:15)

◆その他の販売所

茨木市観光協会 072-645-2020 (茨木商工会議所会館2階) / JA茨木市各店舗 072-627-7762 (本所総務課)

フミレコード阪急茨木市駅前店 072-626-3723 / 朝日野村北摂販売(株) 072-643-8424

電子チケットぴあ 0570-02-9999 / 電子チケットぴあPコード予約 0570-02-9966 (Pコード552-738)

ローソンチケット 0570-000-777 / ローソンチケットLコード予約 0570-084-005 (Lコード58726)

◆主催：(財) 茨木市文化振興財団・茨木市観光協会

澤登 翠(さわと・みどり) 活動弁士

東京都出身 法政大学文学部哲学科卒業。故松田春翠門下。日本を代表する弁士として国内はもとよりフランス、アメリカ他の海外公演を通じて“弁士”の存在をアピールし高い評価を得ている。「伝統話芸・活弁」の継承者として“活弁”を現代のエンターテインメントとして甦らせ文化庁芸術祭優秀賞他数々の賞を受賞している。適確な作品解釈による多彩な語り口でいままでに500本以上の様々なジャンルの無声映画の活弁を務めている。著書に「活動弁士 世界を駆ける」がある。(1973年デビュー)。

【受賞】日本映画ペンクラブ賞(1990年)、日本映画批評家大賞ゴールデン・グローリー賞(1995年)、第21回山路ふみ子文化財団特別賞(2000年)、平成14年度文化庁芸術祭優秀賞(演芸部門)(2002年)

【その他】「夢みるように眠りたい」「二十世紀少年読本」(共に林海象監督)に出演。NHK BS2にて、数多くの作品が澤登の活弁入りで放送されている。NHK「生活ほっとモーニング」青春の映画コーナーのインタビュアーとして2005年3月までレギュラー出演。

楽団 カラード・モノトーン

無声映画の音楽(生演奏)を担当する西洋楽器と和楽器とを混成した専属合奏団。ピアノ、フルート、ヴァイオリン、太鼓(パーカッション)、三味線による構成。'87年東京国際映画祭でD・W・グリフィス監督作品「国民の創生」の音楽制作、演奏を担当し好評を得て以来、日本独特の活動写真の音楽を地道に研究、澤登翠と共に各地で公演活動を行っている。

●指揮&三味線:湯浅ジョウイチ ●ピアノ:村井音文 ●ヴァイオリン:古橋幸 ●フルート:鈴木真紀子 ●太鼓(パーカッション):足立克巳

「雄呂血」 1925(大正14)年阪東妻三郎プロダクション作品／上映時間80分

総指揮:マキノ省三／原作・脚本:寿々喜多呂九平／監督:三川文太郎／撮影:石野誠三／舞台装置:河村基平／現像:田村太一郎

久利富平三郎:阪東妻三郎／漢学者松澄永山:関操／その娘奈美江:環歌子／その夫江崎信之丞:春路謙作／浪岡真八郎:山村桃太郎／二十日鼠の幸吉:中村琴之助／にらみの猫八:嵐しげ代／赤城治良三:中村吉松／吉野川のお千代:森静子

【解説】「日本映画史上最高のチャンバラ映画」とも評される作品。最初の時代劇スター尾上松之助の立廻りは、歌舞伎の技法をそのまま取り入れた動きの少ないもので、画面中央で大見得をきるだけで相手方が倒れるというチャンバラであった。これに対して阪東妻三郎は、激しく動き回る立廻りを映画に取り入れ、必然的に移動撮影も頻繁に行われ、剣戟映画の様相を一変させたのだ。この作品で実際に撮影された剣戟シーンは実に5千フィートを超え、クレーンなどが無い時代故に、俯瞰シーンを撮る時はトラックの荷台に足場を組んでその上から撮影したという。カメラマンの石野誠三は当時を振り返り「移動だ、といったらトラックの運ちゃんに、前だ、後だ、横だ、と行ったり来たりです。テストを何回も重ねてね。」と語っている。

【あらすじ】時は享保の頃、ある大名の城下町で、漢学者松澄永山の誕生祝いの酒宴が催された。家老の伴浪岡真八郎は権勢をかさに傍若無人の振る舞いをし、たまりかねた塾生久利富平三郎と取組み合いの喧嘩となった。だが、門弟は真八郎に味方し、平三郎は永山に激しく詰責され、想いを寄せていた永山の一人娘奈美江にまで嫌われてしまう。数日後、平三郎は侍達が永山や奈美江のいかにわいせつな噂をしているのを知り、カッとなって手をあげてしまった。事情を知らぬ永山には破門され、奈美江には絶交され、とうとうこの土地を追われる身となってしまった。平三郎は惨めな流浪の旅人となった。ある日、吉野川という料理屋の奈美江によく似た娘お千代に心惹かれ、店に通うようになった。平三郎の行く手は、何から何まで裏目裏目に出て、何ひとつ悪事は働いていないはずなのに、幾度も牢屋に入れられた。そして、遂に、平三郎はお千代達いたさに破獄して逃れ、吉野川を訪ねるのだが、お千代は既に人妻となっていた。追っ手から平三郎を救ったのは、俠客赤城治良三であった。だが、彼は義侠の仮面を被って奸悪をたくらむ悪人だったのである。本当は善人であるのに人々からは「無頼漢」と恐れられる平三郎と、大悪人でありながら義侠に富んだ親分と敬愛される治良三。平三郎は世の矛盾を痛切に感じるのであった。ある夜、治良三は病に疲れた夫婦者を助けて、その病夫から美しい妻を奪おうとした。その女こそ平三郎にとって忘れることのできない初恋の人奈美江であった。平三郎は奈美江夫婦を救うべく、遂に憤怒の刃をばらうのであった。

「キートンの警官騒動」 1922年米キートンプロ＝ファーストナショナル作品／上映時間18分

監督・脚本:バスター・キートン／エディ・F・クライン 出演:バスター・キートン／ジョー・ロバーツ／ヴァージニア・フォックス 他

【解説】「キートンの酋長」に次いで作られた2巻物の短編喜劇で、製作時には日本で公開されていない。クライマックスで、キートンは数百人の警官に追われるが、これは数千人の花嫁に追われる『セブンチャンス』(25年)、牛の大群に追われる『西部成金』(25年)に通じるものがある。キートンと共同で監督、脚本を担当しているエディ・F・クラインは1892年11月7日、米・ウィスコンシン州ケノシアの生まれ。マックスセネット喜劇のキーストン・コップス一員として出演した経験もあり、セネットの助監督を経て監督となった。キートンが1920年に独立プロを起してからは、良き協力者として23年の『滑稽恋愛三代記』までのほとんどの作品を共同で作り上げており、クラインが共同監督に名を連ねていない作品は、『悪太郎』(21年)、『鍛冶屋』(22年)、『捨小舟』(23年)の僅か3本である。また、クラインは『悪太郎』には端役で出演していると言われており、本作でも浮浪者役で顔を見せられている。

【あらすじ】キートンはガールフレンドから「一人前の事業家になったら結婚してもいい」といわれて一念発起。幸先良く手に入った他人のサイフで、行き掛かりの男の家財道具を買ってやると、「一人前の事業家」になったと思込む…。家財道具を満載した馬車で都大路に出ると、その日は年に一度の警官のパレードが行われる日だった。貴賓席には市長や市長令嬢の姿も見える。だが、このパレードを狙う暴漢がいた。ビルの屋上から爆弾を投下してきた。何とそれがキートンの馬車の上に。煙草の火を探していたキートンは、これ幸いと導火線の火を拝借してボイと投げ捨てると、いつの間にか馬車はパレードの中に入り込んでいたから、さあ大変!後続の警官達は爆弾でやられ、衣服はボロボロ。キートンは警官の大群に追われ、逃げまくる。果たして…。

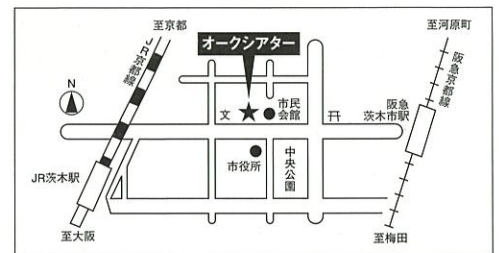
◆チケットの取り扱い・お問合せ

(財) 茨木市文化振興財団 072-625-3055 (茨木市市民会館1階 8:45～17:15 無休)

* 発売初日から電話予約もお受けします。* 予約後は、1週間以内に財団窓口でご精算ください。

* 予約チケットの郵送をご希望の場合は、〈チケット料金+郵送料290円〉を郵便局備付けの「払込取扱票」で払い込みください。手数料はご負担願います。

〈振替口座〉00970-7-190576／加入者名:財団法人茨木市文化振興財団



◆茨木市福祉文化会館(オークシアター) 文化ホール(5階)

〒567-0888 茨木市駅前四丁目7番55号／TEL072-623-3962／JR茨木駅から東へ徒歩8分、阪急茨木市駅から西へ徒歩8分／茨木市役所北向、市民会館隣

美しいまちをつくりましょう

木本興産株式会社

〒567-0041 茨木市下穂積二丁目4番11号

TEL072-623-1674／FAX072-625-8107